

(13) 2022年(令和4年)1月3日(月曜日)

物流Weekly

# 同社の快進撃は止まらない

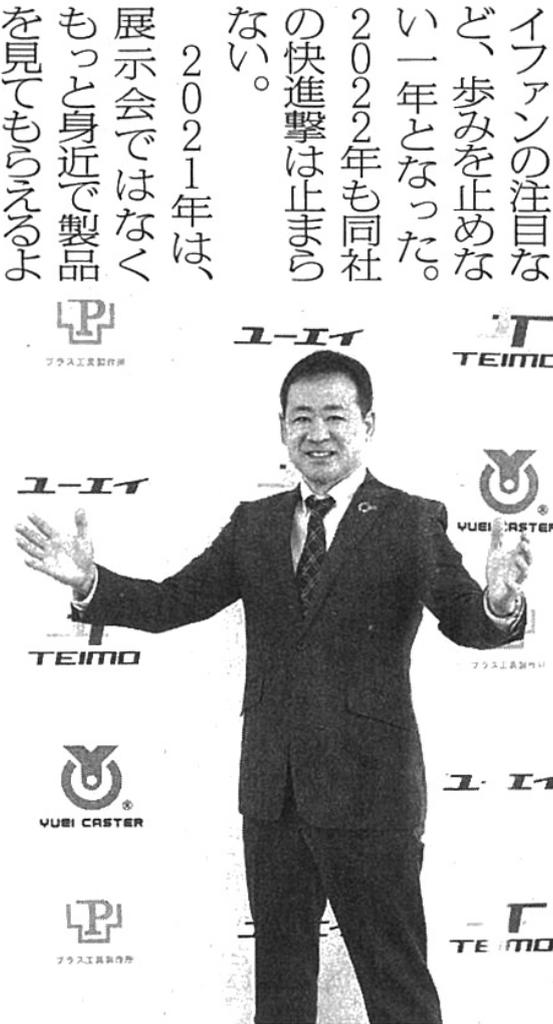
## ユーエイの雄島社長・新春インタビュー

約8000種類のキャスターを扱うメーカーであるユーエイ(雄島耕太社長、大阪府東大阪市)。新型コロナウイルスとの闘いが2年目となった2021年は、東京のショールーム完成やユーエイファンの注目など、歩みを止めない一年となった。2022年も同社の快進撃は止まらない。

2021年は、展示会ではなくもっと身近で製品を見てもらえるよ

うに、東京にショールーム「YTC東京(ユーエイ・テクノロジー・センター)」をオープン。IoT環境の構築が簡単にできる統合型センサーネットワークシステム「ユーエイ・ツナガル・システム」の

体感ができる。雄島社長は「2021年の後半は、コロナの中でも少しずつ活動が再開され、展示会にも出展した。システムの見直しはなかなか難しいが、ショールームに来訪いただくことで、身近に感



雄島社長

知度が上がっているのは嬉しいこと。高付加価値の製品をさらに売り出していく。さらに、キャスターと同時に他の技術も磨くこと

で、事業の多角化を目指していく(雄島社長)。

また、2019年発売の屋内環境改善、熱中症対策につながる快適環境づくりに貢献する「ユーエイファン」の認知度が向上し、様々な業種で採用されるようになった。「その他にも、始動力に優れるキャスターの認知度が上がっているのは嬉しいこと。高付加価値の製品をさらに売り出していく。さらに、キャスターと同時に他の技術も磨くこと

2022年、ユーエイ・ツナガル・システムとともに売り出したいのが、段差乗り越えキャスターだ。前に進む力を押し上げる力に変換する「D-Drive」を搭載したキャスターを、前輪に2個搭載することで、段差をスムーズに乗り越えることができる画期的なキャスターとなっている。また今春には、昨年の展示会で注目を浴びた「アシスト機能付きキャスター」がリリース予定だ。

(木村麻理奈)